

神戸市外国語大学 教員初任給決定方法

1. 給料表

別紙のとおり

2. 初任給決定方法

(1) 初任給基準

- ・大卒、修士卒、博士卒からの経歴により計算し、最も有利な条件を適用
- ・下記の基準に、経験年数に応じて加算
- ・採用時の職位に応じて給料表の格付けする級を決定
- ・1級から2～4級への昇格は、別表「昇格時号給対応表」のとおり

基準	級—号給	職位	給料表の級
大学卒	1－5	教授	4級
修士卒	1－17	准教授	3級
博士卒	1－29※	講師	2級

※単位取得満期退学等の場合。博士号取得の場合は1-33とする。

(2) 前歴加算

- ・下記の表を基準にし、換算後の経歴1年ごとに、4号給の経歴加算を行う。

経歴		換算率	例
【在職期間】 国家・地方公務員又は民間企業等の職員	職員の職務と同種・同類の業務 または職員としての職務 にその経験が直接役立つと認められる職務に従事した期間	100%	・高等教育機関での教員歴（専任） ・研究機関での研究員（同一分野） ・非常勤講師（同一分野） ・初等中等教育機関での教育歴（同一分野） ・下記①②(※)を満たす同一分野での実務経歴
	その他の期間のうち、理事長が認める期間	80%	・研究機関での研究員（同一分野以外） ・非常勤講師（同一分野以外） ・初等中等教育機関での教育歴（同一分野以外） ・実務経歴（同一分野以外） ・下記①②(※)を満たさない実務経歴
【在学期間】 学校又は学校に準ずる教育機関	正規の修学年数内の経歴 （課程を修了した経歴に限る）	100%	—
	その他の期間のうち、理事長が認める期間	100%	—
その他の期間		25%	・無職の期間 ・業務と関連のないアルバイト等の期間

※当該経歴が、採用される分野と一致しており、以下のいずれかに該当する場合には【直接役立つ】経歴として認めることとする。

- ①当該経歴における実績が顕著であり、本学学生の育成や研究者としてその研究にとって、特に有益であると認められる経歴
- ②大学が募集段階において、当該実務経歴のある人材を特に必要として求める場合（応募要件の一部とする等）

(別表) 昇格時号給対応表

- ・昇格後の級及び昇格前の号給により定められている号給に決定する。
- ・1級上位の級に昇格する場合の対応表であり、2級以上上位の級へ昇格する場合は、それぞれ1級上位級への昇格が順次行われたものとして取り扱う。

昇格した日の 前日に受けて いた号給	昇格後の号給		
	2級	3級	4級
1	1	1	1
2	1	1	1
3	1	1	1
4	1	1	1
5	1	1	1
6	1	1	1
7	1	1	1
8	1	1	1
9	1	1	1
10	1	1	1
11	1	1	1
12	1	1	1
13	1	1	1
14	1	1	1
15	1	1	1
16	1	1	1
17	1	1	1
18	2	2	1
19	3	3	1
20	4	4	1
21	5	5	1
22	6	6	2
23	7	7	3
24	8	8	4
25	9	9	5
26	9	10	6
27	10	11	7
28	10	12	8
29	11	13	9
30	11	14	10
31	12	15	11
32	12	16	12
33	13	17	13
34	14	18	14
35	15	19	15
36	16	20	16
37	17	21	17
38	18	22	17
39	19	23	18
40	20	24	18

昇格した日の 前日に受けて いた号給	昇格後の号給		
	2級	3級	4級
41	21	25	19
42	22	26	19
43	23	27	20
44	24	28	20
45	25	29	21
46	26	30	22
47	27	31	23
48	28	32	24
49	29	33	25
50	30	34	25
51	31	35	26
52	32	36	26
53	33	37	27
54	34	38	27
55	35	39	28
56	36	40	28
57	37	41	29
58	37	42	30
59	38	43	31
60	38	44	32
61	39	45	33
62	39	46	33
63	40	47	34
64	40	48	34
65	41	49	35
66	42	50	35
67	43	51	36
68	44	52	36
69	45	53	37
70	45	53	37
71	46	54	38
72	46	54	38
73	47	55	39
74	47	55	39
75	48	56	40
76	48	56	40
77	49	57	41
78	49	58	42
79	50	59	43
80	50	60	44

昇格した日の 前日に受けて いた号給	昇格後の号給		
	2級	3級	4級
81	51	61	45
82	51	61	45
83	52	62	45
84	52	62	46
85	53	63	46
86	54	63	46
87	55	64	47
88	56	64	47
89	57	65	47
90	57	65	
91	58	66	
92	58	66	
93	59	67	
94	59	67	
95	60	68	
96	60	68	
97	61	69	

3. モデルケース

例1：採用時の職位「講師」・博士卒（博士号未取得）の場合

学歴・教歴	経歴年数・月数	換算率	大学卒	修士卒	博士卒
大学卒業					
修士課程	2年（24月）	100%	24月	－	－
博士課程	3年（36月）	100%	36月	36月	－
非常勤講師	3年（36月）	100%	36月	36月	36月
合計月数			96月	72月	36月
加算する号給（1年につき4号給経歴加算）			32号給	24号給	12号給

大卒からの経歴（基準）1－5 ＋（前歴加算）32号 ⇒ 1－37

修士卒からの経歴（基準）1－17 ＋（前歴加算）24号 ⇒ 1－41 ◎

博士卒からの経歴（基準）1－29 ＋（前歴加算）12号 ⇒ 1－41 ◎

「昇格時号給対応表」に基づき、1－41 ⇒ 2－21

例2：採用時の職位「准教授」・博士卒（博士号取得）の場合

学歴・教歴	経歴月数	換算率	大学卒	修士卒	博士卒
大学卒業					
A株式会社 ※1	24月	100%	24月	－	－
B株式会社 ※2	18月	80%	14.4月	－	－
無職	6月	25%	1.5月	－	－
修士課程	24月	100%	24月	－	－
博士課程	36月	100%	36月	36月	－
C大学 専任講師	24月	100%	24月	24月	24月
合計月数			123.9月	60月	24月
加算する号給（1年につき4号給経歴加算）			41号給	20号給	8号給

※1 【直接役立つ】経歴として認められたもの

※2 【直接役立つ】経歴として認められないもの

大卒からの経歴（基準）1－5 ＋（前歴加算）41号 ⇒ 1－46 ◎

修士卒からの経歴（基準）1－17 ＋（前歴加算）20号 ⇒ 1－37

博士卒からの経歴（基準）1－33 ＋（前歴加算）8号 ⇒ 1－41

「昇格時号給対応表」に基づき、1－46 ⇒ 2－26 ⇒ 3－13